

## 今日のトピック トランプ大統領の施政方針演説 基本政策は不変、メッセージは「アメリカ・ファースト」

### ポイント1 大統領就任後初の議会演説 施政方針などを提示

- トランプ大統領は現地時間2月28日の夜、議会上下両院合同委員会で演説を行い、1年間の施政方針を示しました。
- 米大統領が年初に行う演説は「一般教書演説」と呼ばれますが、一般教書演説は、大統領が前の1年を振り返り、その評価などにも触れることが通例となっているため、大統領が就任した年に行う演説は、「上下両院の合同会議で行われる演説」と呼ばれています。

#### 【大統領就任後100日以内の立法化を目指す10の政策】

1	中間層減税および課税簡素化法
2	オフショアリング終了法（企業の海外移転阻止を図る法）
3	米国エネルギーおよびインフラストラクチャー（社会資本）法
4	学校選択・教育機会法（学校選択の自由度向上など）
5	オバマケア（オバマ政権による医療保険制度改革）廃止・置換法
6	育児・介護費用適正化法
7	不法移民終結法
8	地域安全回復法（凶悪犯罪対策の強化など）
9	国家安全保障回復法
10	ワシントン腐敗一掃法

(出所) トランプ氏ウェブサイト等より三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 減税、インフラ投資を提唱 最初から最後まで“米国第一”

- 内容については、これまで表明していたものと、ほぼ同じでした。すなわちオバマ前政権の国民皆保険制度、いわゆるオバマケアの廃止とそれに代わる医療保険制度の創設、中間所得層の減税を含む税制改革、1兆ドル（約110兆円）のインフラ（社会資本）投資、国防費の大幅な増額について述べられました。しかし、それらについての踏み込んだ説明はなく、財源に関する言及もありませんでした。
- 演説では、最初から最後まで「America First（米国第一）」のトーンが鮮明でした。この方針に沿って、エネルギー産業の規制緩和により「新たに建設されるパイプラインは米国製の鉄鋼が使用される」と述べました。そのほか米国民の雇用拡大や賃金上昇、さらに国内の治安向上を促進するために、移民規制強化の方針を掲げ、国境の「壁」建設を改めて宣言しています。

### 今後の展開 トランプ予算の概算は3月に公表される見通し

- 今回の議会演説の内容は、新鮮味に欠けるものでした。「米国第一」主義が掲げられはしましたが、特に保護貿易主義に傾斜した内容ではなかったことから、為替市場では米ドルが買われ、東京市場の株価は米ドル高・円安を受けて上昇しています。
- トランプ大統領の予算概要は、3月16日に議会に提示される予定です。その後、議会が大統領とも協議を重ねて予算が決まってきます。この協議によって実際の予算内容・規模が、市場の織り込みからどの程度かい離するのか、注目が集まります。

### ここもチェック! 2017年2月21日 「貿易赤字」削減の鍵は対中貿易（米国） 2017年2月 2日 トランプ大統領「NAFTA」再交渉へ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。